

「認知症の人がいきいきと暮らし続けることができるまち」の実現に向けて

『認知症の人をささえるまち大阪宣言』（平成30年2月）
「認知症の人がいきいきと暮らし続けることができるまち」を実現していく。

- ◆ 認知症の人がいきいきと社会において活躍できる場が必要。
- ◆ 認知症と診断されても、まだまだ就労や社会活動などを行うことができる人はたくさんいる。

認知症の人が社会で活躍できるための
施策を実施



認知症の人をささえるまち大阪宣言

現在、65歳以上高齢者の約7人に1人が認知症であると推計されており、2025（平成37）年には、その割合は約5人に1人に上昇すると見込まれています。

認知症はとても身近な病気であり、誰もが認知症の人をささえる例として、また、認知症の当事者として、認知症にかかり、認知症と共に生きる時代になりました。

大阪市は、認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる社会の実現をめざし、あらゆる世代や立場の人が協力して、認知症の人にやさしいまちづくりに取り組むことを宣言します。

- 認知症に関する知識の理解を深め、早期に認知症に気づき、地域のつながりで認知症の人をささえるまち
- 認知症の人の思いやその人らしさを尊重し、認知症の人やその家族の視点に立って行動するまち
- 外出する、運動する、食事に気をつけるなど、認知症になりにくい生活習慣を実践するまち
- 認知症の状態に応じた質の高い医療・介護サービスが速やかに提供されるまち
- 認知症の人がいきいきと暮らし続けることができるまち

平成30年 2月13日

大阪市長

吉村 洋文

大阪市役所で「ゆっくりカフェin英國屋」を開催します

日時

令和元年9月6日（金） 13：30～15：30

場所

大阪市役所地下2階 カフェ英國屋

開催時間帯においてはメニューを変更し、次の4種類の飲み物での営業となります。

①アイスコーヒー ②ホットコーヒー ③アイ스티ー ④オレンジジュース



CAFE
英國屋

ぜひ、お越しください

- ◆認知症の人が店員として注文を聞き、飲み物を提供。
- ◆オーダーを間違えることもあるかもしれませんが、「ま～ええやん」という気持ちを持って、ゆっくりした時間をお過ごしください。

認知症の人が社会で
役割を得て、いきいき
と活動する姿を発信



- ① 認知症に関する社会の見方を変える
- ② 認知症の人を含む多くの人が希望を持てる
- ③ 認知症に対する正しい知識・理解を深める



「ゆっくりの部屋（大阪市認知症の人の社会活動推進センター）」 をご利用ください

～認知症の人の生きがいや居場所づくりを支援するための拠点です～

◆事業内容

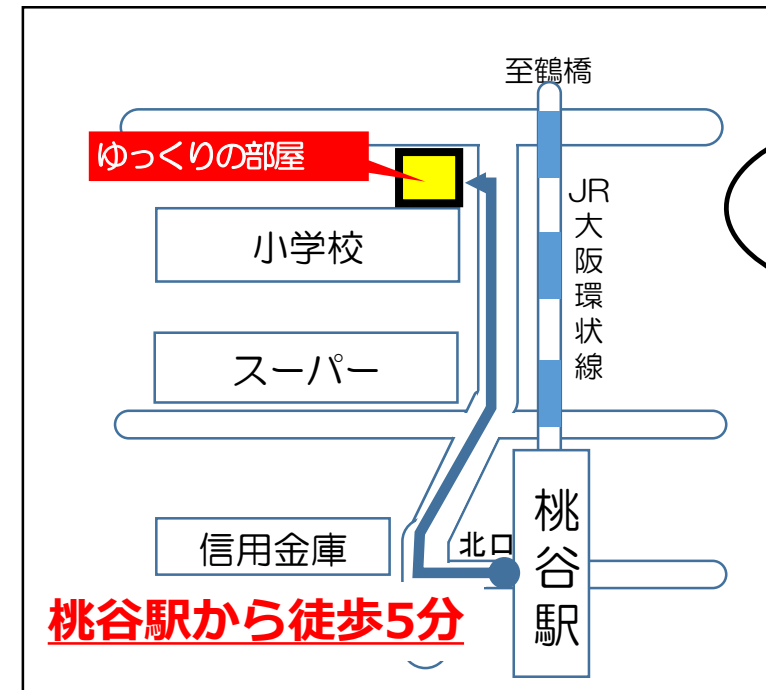
- ・ 認知症の人自身がピアサポーターとして認知症と診断された人からの相談を受ける「ピア活動」を実施。
- ・ 認知症の人からの意見などをもとにした認知症の人の社会活動の場の創出、その活動の支援などを行います。

【住所】 天王寺区堂ヶ芝1丁目2番2号
富士ハイツ102号

【開所時間】 11：00～17：00
※日曜は13：00～19：00

《月・火曜及び第1・第3日曜は休み》

電話 06-4303-3301



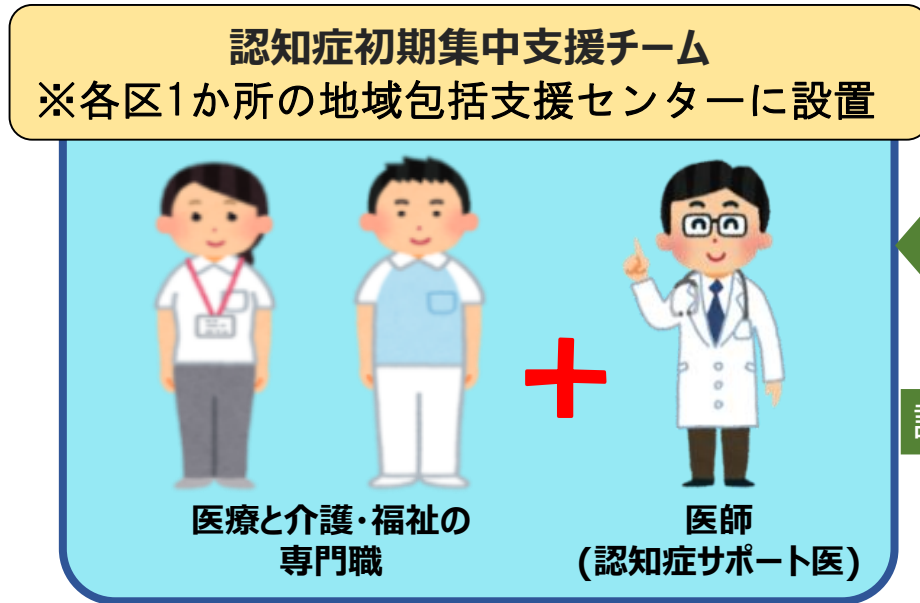
気軽に
ご連絡ください



認知症かな？と思ったら、悩まずにご相談ください

◆認知症初期集中支援チームとは…

- ・ 認知症の疑いのある人や認知症の人及び家族を訪問し、適切な医療や介護サービスに繋げ、在宅生活をサポートします。



相談

訪問・支援

認知症が疑われる人
・ 認知症の人・その家族



早めに気づくことが
大切です。
ひとりで悩まず
まずはご相談ください。



- ・ 認知症は、早期発見・早期対応が重要です。
- ・ 認知症の疑いなどがある場合は、まずは、お近くの認知症初期集中支援チームにご相談ください。
- ・ 相談いただければ、適切な対応や支援につながります。